

北島 茉也さん

陸前高田市のマスコットキャラクター 「たかたのゆめちゃん」をデザイン



北島茉也 (きたじま・まや)

- 2006年11月 香蘭女学校高等科2年在学中に絵本『にじいろ』(2006年/新風舎)を刊行
 - 2008年 3月 香蘭女学校高等科卒業
 - 2008年 4月 立教大学コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科入学
 - 2012年 1月 陸前高田市のマスコットキャラクターに「たかたのゆめちゃん」が選ばれる
 - 2011年 3月 コミュニティ政策学科卒業
- 北島さんのブログ「ふんわり、ゆめごっこ。」
<http://ameblo.jp/manmaru-fuwafuwa/>



3月10日、11日、ショッピングモール olinas 錦糸町にて。バラの花とカラフルな砂を使って描かれた「インフィオラータ (花絵)」の「たかたのゆめちゃん」(主催: olinas 錦糸町、協力: Aid TAKATA)

とてもショックでした」。募集締め切りが近付く中、少しずつイメージをふくらませ、締め切り直前に「ゆめちゃん」が生まれた。「見ていて癒される絵が好き。ゆめちゃんもそのイメージです」。そして、陸前高田のマスコットと

して「耳に高田松原の松を、おでこに市章のデザインを星型にしてあしらひ、メッセージを運ぶという設定からポシエットを持たせ、そこに市花のツバキをつけました」。背中の羽は、「子どもたちにメッセージを届けに飛んでいけるように」と説明してくれた。

今年の3月12日には、陸前高田市役所仮庁舎で発表記者会見に臨み、戸羽太市長からは感謝状が送られた。「私なんか感謝状をいただいているのかと恐縮しましたが、戸羽市長のご著書の中の『忘れられることが一番つらい』という言葉を思い出し、震災から一年がたちメディアの扱いもぐんと減ってきた中で、ゆめちゃんが復興支援を全国にアピールしてくれたいなと思っています」

今後は自身の創作活動を続けるかたわら、生みの親として支援行



陸前高田市で行われた発表会見後、陸前高田出身の友人たちと。

東日本大震災で被災した岩手県陸前高田市の復興を願うマスコットとして、市内の小・中学生の投票により応募総数334作品の中から選ばれた「たかたのゆめちゃん」。ふわふわまるくて可愛らしい、見る人全てが笑顔になるこのキャラクターをデザインしたのは、今年、本学コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科を卒業したばかりの北島茉也さん。「母が、絵本作家の葉祥明さんのホームページから、『こんな公募があるよ』と見つけてきたのが応募のきっかけでした。陸前高田という言葉が耳にとまって。特別な思いがあった。北島さんには趣味を通じネットで交流している友人がいる。「彼女は陸前高田出身で、東日本大震災で被災しました。家は被害を免れたけれど、祖父母や友人を亡くしたとブログで知り、

事などにも積極的に関わっていきたいという。「何かしたいと思っ

ていても、最初の一步が踏み出せない人が多いのだと思います。私自身もそうだったのですが、ゆめちゃんを選ばれて、自分にも何かできる、と自信ができました。機会があればゆめちゃんの着ぐるみに入ってみたいと、につこりほは笑んだ。